

アスファルト下地施工のポイント



POINT 1 バインダーの塗布は チャピンポンプで行いましょう!!

アスファルト下地はでこぼこしているため、ローラーを使用すると、溝にバインダーが溜まりやすくなります。

チャピンポンプを使うとまんべんなくきれいに噴霧でき、施工時間も短縮出来ます。



POINT 2 ネット材を作る場合のバインダーの量は スプレーハードナー1袋(20kg)に2.5L

コンクリート下地の場合のバインダーの量はベースハードナー 1 袋に対して 2.0L ですが、アスファルト下地の場合は 2.5L 使用します。

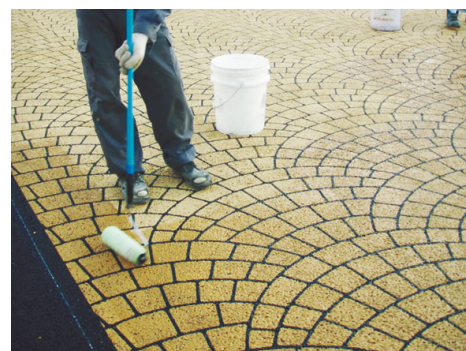
そうすることにより、固着がよりよくなります。
(ネタ材の粘性は水の量で調整して下さい。)



POINT 3 シーラー塗りはタールが浮く前に手早く!! ローラーは必ず粗面用をご使用下さい

仕上げのシーラーを塗るときは、手早く 1~2 回の動作で確実に塗って下さい。シーラーを塗るとタールが浮いてきますので、何度もローラーで塗っていると黒ずんで汚れが広がってしまいます。

また、使用するローラーは必ず毛丈が長い粗面用タイプを使用して下さい。吸い込みが多いので、広範囲に塗布し、凹凸にも対応出来ます。



アスファルト下地施工に慣れていない場合は、MAT 技術担当者にご相談下さい